



令和3年3月

宇都宮市立旭中学校図書館

文責：加藤・安達

図書館だより



春の訪れとともに、3年生は卒業、1・2年生も進級に向けて区切りを迎えることになりました。みなさんは、中学校生活の中で、心のよりどころにできるような本に出会えましたか？これからも良い本にめぐり会えるように、読書に親しんでください。

ベストセラータイムスリップ！

3年生のみなさんが、節目を迎えた年のベストセラー本をご紹介します。読んだことがある本はありますか？（トーン調べ）

2005年 生まれた年

2005年、3年生が生まれた年のベストセラーは樋口裕一/著の『頭がいい人、悪い人の話し方』です。何気ない会話に、その人の知性が現れる。難しい議論がしたいわけではない、他愛のない世間話をしたいだけなのに……。社会に出れば話し方ひとつで、仕事ができるかどうか判断されてしまう。この本は巷にあふれる愚かな話し方の実例をあげ、その傾向と対策を練っています。この本を参考にすると、しっかりとした会話術が身に付きそうですね。



2012年 小学1年生

3年生がピカピカの小学1年生だった、2012年のベストセラーは、阿川佐和子/著『聞く力 心をひらく35のヒント』です。「週刊文春」で、800人の本音を引き出した阿川佐和子さんの「秘訣」とは！？10代のアイドル、マスコミ嫌いのスポーツ選手、財界の大物達が彼女に心を開くのはなぜなのでしょう。本書は日常会話にも生かせる「聞く極意」を伝授しています。



2018年 中学1年生

そして3年前、3年生が旭中の門をくぐり、中学生になった年のベストセラーは吉野源三郎/原作 羽賀翔一/漫画『君たちはどう生きるか』です。勇気、いじめ、貧困、格差、教育……。今も昔も変わらないテーマに真摯に向き合う主人公のコペル君と叔父さん。二人の姿勢には、生き方の指針となる言葉が数多く示されています。



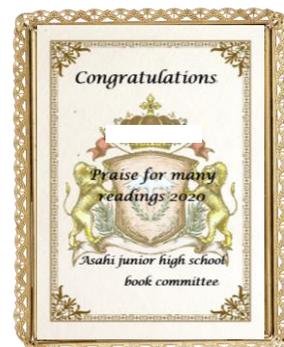
2020年度多読賞



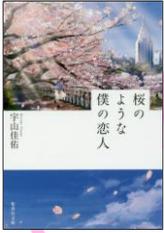
多読賞 4月～2月 (2/18調べ)

1位	1-4	T. Rさん	82冊
2位	1-2	O. Rさん	78冊
3位	1-1	H. Tさん	63冊

図書室の本をたくさん利用した人に、多読賞をお贈りしました。副賞として、特製しおりと表彰状をプレゼントしました。



春におすすめの本



桜のような僕の恋人

宇山佳佑/著
集英社 B913/ウ

カメラマン見習いの晴人と、新米美容師の美咲。恋に落ちた二人だが、美咲は人の何十倍もの早さで年をとる難病を発症する。しかも、治療法はないと告げられ……。切なく哀しいラブストーリー。



サクラ咲く

辻村深月/著
光文社 918/ツ

自分の意見を主張できない、頼み事を断れない、そんな性格を直したいと思っている中1生の「マチ」。困っているはずの誰かのために、勇気を振り絞って行動します。中高生が抱える胸の痛み、素直な想いを、みずみずしく描いた傑作です。



思い出のとき修理します

谷端恵/著
集英社 B913/タ

思い出って、修理できるものなの？仕事と恋に疲れ、子供の頃に少しだけ過ごした思い出の町に引っ越した明里。さびれた商店街の片隅、ショーウィンドウに奇妙なフレートを飾った時計屋さんとの出会い、新生活が始まりますが…。



友だちが増える話し方のコツ

西出博子/著
学習研究社 80/ニ

ちょっとした会話で、仲良くなったりケンカをしたい…中学生は大変！誰もが気持ちよくいられる「話し方」を身に付けることは、自分が楽しく生きていくことに直結します。新しい友だちを作ったり、今いる友だちともっと仲良くなったりするコツ満載。

教科書掲載本 (3年)

『おくのほそ道』 松尾芭蕉

「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり。舟の上に生涯を浮かべ、馬の口とらへて老いを迎ふる者は、日々旅にして、旅を栖とす。」

～年、月、日といった時間は、限りないひろがりど、永遠につづく宇宙から見れば、旅行者のようなものだ。きては去り、去っては新しいものがおとずれる。人間も時間と似たようなもので、船頭も馬子も船や馬を相手にして、人生という時間の中を旅していく。つまり旅の中に生活しているともいえるだろう。～

卒業を目前に読むと、また違った味わいを感じることができるのではないのでしょうか。最後に名作に触れてみたい人に。

旭地域おすすめ



春期限定いちごタルト事件

米澤穂信/著
東京創元社 B913/ヨ

小市民を目指す、高一生の小嶋君と小佐内さん。目立ちたくないのになぜか謎を解く必要に迫られてしまいます。果たして小市民の星を掴み取ることができるのでしょうか？続編に「夏期限定トロピカルパフェ事件」と秋期限定栗きんとん事件もあります！